

報 告 書

開催日時	平成 27 年 10 月 14 日（水） 19：00～20：30	
開催場所	西有田公民館	
出席議員	（1 班） 嶋崎、高瀬、石橋、三苫、梅原	
	班 長	高瀬
	司 会 者	高瀬
	記 録 者	三苫
参加人数	10 名	
主な要望 ・ 提 言 等	○A氏	
	1. 山間地の農業は、耕地が狭い、鳥獣被害が大きい、後継者がいないなど問題が大きい。どのような対策が考えられるか。	
	農業後継者や新規就農者を希望する場合は、「青年就農給付金(準備型)(経営開始型)」等の国の制度が利用できる。	
	2. 周辺部では子どもが高校生になると市中心部へ引っ越すなど、ますます過疎化が進行しているが、どう思うか。	
	上津江、中津江から市内の高校に通学するため下宿等した場合、一人当たり月額 13,000 円の助成制度がある。卒業しても出身地域へ戻るような対策も必要である。	
○B氏	1. 観光振興面で必ず出てくるキーワードは「情報発信」である。旧来型の情報発信では、日田の観光は浮揚しない。具体的な振興策が重要である。例えば、代官所跡地を整備して、国内でも指折りとなる代官所を復元して観光の目玉にする。これについての考えを伺う。	
	代官所復元については、今までいくつかの会合等で意見をいただいている。十分検討させてもらう価値がある。	
	○C氏	
1. 小児科の休日・夜間医療体制を充実させなければならない。安心して子育てができない。市で小児科医を育成する、小児科医の夜間当番制等考えられないか。		
人口を維持していくためには、医療体制の充実が重点課題である。医師会との協議を進めるなど、地域医療の充実に努める。		

○D氏

1. 人口を維持していくためには、方針ではなく、具体的な対策が重要である。例えば、企業誘致による雇用対策、また、大型ショッピングセンターの誘致、ウッドコンビナートへの誘致推進をすれば活気がでるのではないか。

雇用の創出の面からも企業誘致は重要な課題と考える。域内消費の推進により地域経済の活性化を図るための対策も考えていかなければならない。

○E氏

1. 河川整備等により、「水郷日田」を復活させ清流を取り戻さなければならない。

水質汚濁対策、九州電力の水利権の問題等課題がいくつかある。議会にも「水資源対策等特別委員会」を設置し、水郷日田再生委員会においても清流再生に取り組んでいる。

○F氏

1. 議会報告会（意見交換会）で聞いた意見をどのような形で実施していくのか。

出された意見をまとめて、市長へ提言する。